

令和7年度(2025年度)第7号
 豊中市立北緑丘小学校
 令和7年(2025年)11月4日

つながる学校

- 自分で考え、判断する力を持つ子ども
- 自分で目標に向かって、努力を続ける子ども
- ちがいを認め合い、相手の立場を尊重し、仲間とつながりあえる子ども

後期がはじまりました

秋風が冷たく感じられる季節になりました。10月25日(土)に運動会がありました。心配された雨でしたが子どもたちのパワーで何とか挙行することができたと思います。学級休業で参加できなかった1年2組も他の低学年や6年生と一緒に30日(木)に保護者の方々に参観していただくことができました。他の学年の応援にも嬉しさのあまり涙が出そうになりました。運動会のときにもお話ししましたが、勝っても負けてもみんなが一致団結できるような北緑丘小学校であってほしいと思います。

全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日に6年生を対象として全国学力・学習状況調査が行われました。この目的は児童生徒の学力や学習状況を把握し、今後の教育に役立てることです。ですが、結果については正答率が高ければがんばっていると評価されてしまっている面があるようです。改めて当初の目的を大切に、授業改善のヒントとしていきたいと思います。

なお、文部科学省HPに調査問題が掲載されています。

国語

よくがんばっているところ

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる
- ・自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができている。

課題・これからの改善点

- ・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる
- ・目的に応じて、文章と図表など必要な情報を見つけることができる

改善点として挙げた2問はよく似た問われ方をしているので1つだけ例を挙げたいと思います。

木村さんは【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に係れていることを理由にしてまとめることにしました。あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>

言葉の変化についてなっとくしたことを【資料1】から言葉や文を取り上げて書くこと

なっとくした理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと

この問題には条件が2つあります。1つの条件はできているのにもう1つが入っていない人が20%いました。問題をしっかり読む。自分がつくった文章が条件に合っているか確認する。といったことが大切になってくると思いました。

無回答が多いことも非常に気になっています。北緑丘小での問いでは23.9%の人が無回答でした。条件に合わせて文を書くことは難しいことです。しかし何も書かなければ進むこともできません。まずはあきらめずに取り組むことが大事だと思います。大切だと思ったところにアンダーラインを入れる。その言葉を使いながら文章をつくってみる。そういったねばり強く取り組もうとする姿勢が大切だと思います。

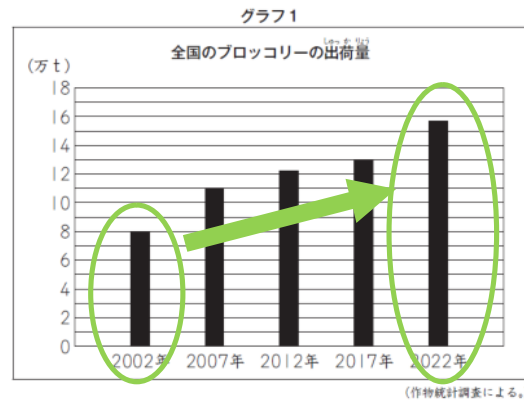
算数

よくがんばっているところ

- ・台形の意味や性質について理解している
- ・「10%増量」の意味を理解し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる

課題・これからの改善点

- ・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる
- ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる



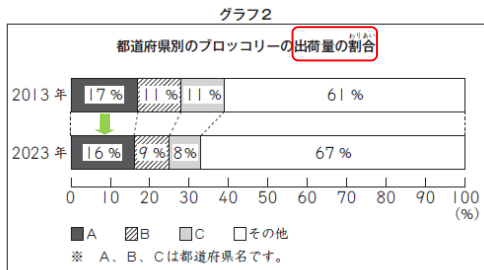
2022年の全国のブロッコリーの出荷量は、2002年の出荷量の約 2 倍になっています。

正解は 2 倍なのですが、0.5倍と答えた人が7.5%、無回答が3%いました。

問題の文章をよく読み、どこが1あたりの量なのかしっかり考えられるようにしましょう。

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} \text{ を計算しましょう。}$$

これも無回答が9%いました。5年生の算数の内容ですね。しっかり復習するようにしましょう。

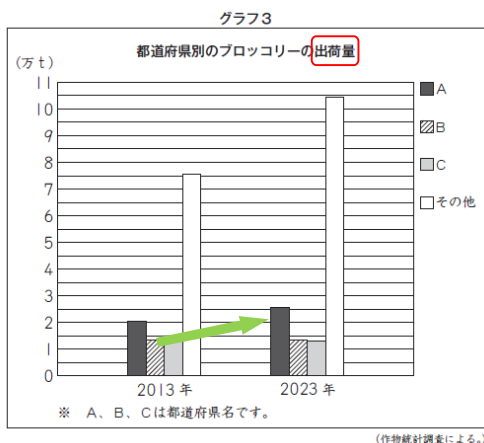


グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか一つのグラフを見れば、都道府県Aのブロックリーの出荷量が、増えたかどうかかわかります。

上のグラフではAが減り、下のグラフでは増えています。どちらのグラフを見ればわかるのかは、あいりさんの言葉を見れば出荷量の割合ではなく、出荷量であることがわかります。そこを見落としたのか、上のグラフで答えを出した人が23.9%いました。

昨年も書きましたが言葉や数を使って書きましょうの問題は北緑丘小学校の子どもたちは苦手としているようです。昔は「読み書きそろばん」と言われるように単純に数式を解けばいい、と考えられてきました。しかし、今はなぜそうなるのか？(数学的な思考)と考えることが大事にされてきています。

普段の授業から「なぜ」という気持ちをもって問題を解けるようになってほしいと考えています。



理科

よくがんばっているところ

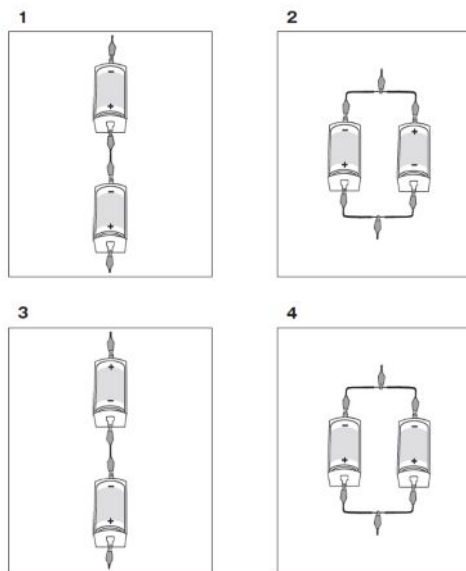
- ・電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し表現することができる
- ・水が凍りに代わる温度を根拠に海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができる

課題・これからの改善点

- ・乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識を身に着けることができる
- ・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができる

特に右に出している2問について考えてみたいと思います。

(4) かん電池2個を直列につなぎ、電磁石の強さを最も強くできるのは、どのようなつなぎ方ですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



4年生の理科の復習になります。なんとなく見てしまうと・・・

直列つなぎ：1・3

へい列つなぎ：2・4

のように見えますがそれぞれ+と-が逆になっています。電磁石を最も強くできるのは直列つなぎなので1か3が正解になります。

3は2つの乾電池が+・-が逆につながっているのですがいい打ち消し合ってしまうので、正解は1になります。

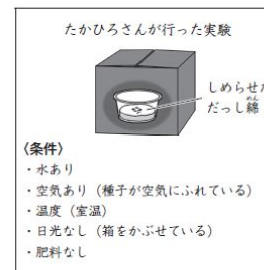
2と答えた人25.6%、3と答えた人と4と答えた人がそれぞれ13.4%で、残念ながら半数以上の人が間違っていました。

NHK for Schoolにもわかりやすい動画がありました。この際、一度復習してみるのもいいかもしれません。

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。



正答率：13.4%、無回答17.9%といった厳しい結果が出てしまった問題です。

水、空気、温度、日光、肥料の5つの条件の中で水、空気、温度以外と言われれば「日光」か「肥料」しか答えはありません。

「日光」、「肥料」のどちらかで考えられた人は7割以上いました。残念だったことは、**てるみさんが「どんな問題をつくったか？」について書いていない人が60%いた**ということです。着眼点まではよかったので、非常に惜しいと思いました。例えば「日光」を選んだ人ならば日光があるときとない時でレタスの種子はどちらが発芽するだろうか？と書けば正解になります。

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の(条件)の中から1つ選んで調べてみたい。



理科の目標の中に「観察、実験などを行い、問題解決の力を養う」があります。実験や観察からわかることを文章で表現する力が必要だと思いました。

(4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。